

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

1月

令和8年第3週 (1月12日～1月18日)

感染性胃腸炎が増加傾向です

今週の定点あたりの報告数は5人と、1月に入り3週連続で増加しています。大分県全体では10.67人と、先週の7.81人と比較し増加しています。

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスが原因で腹痛や下痢、嘔吐などの症状が起こります。冬はノロウイルスによる報告が多い時期です。嘔吐や下痢で脱水状態になりやすいため、乳幼児や高齢者では注意が必要です。感染を広げないために、嘔吐物や便を適切に処理することが重要です。処理の際は、マスク、使い捨てガウン、手袋などを装着し、消毒には次亜塩素酸ナトリウムを使用してください。処理した後は、しっかりと手洗いを行いましょう。

インフルエンザは減少しました

第3週の報告数は23人と、先週の41人と比較し減少しました。型別ではA型が20人、B型が3人でした。豊肥管内の定点あたりの報告数は3.80人と、先週の9.20人から減少しました。大分県全体の定点あたり報告数は21.43名となり、先週の15.12名から増加し、引き続き流行発生警報レベルとなっています。

新型コロナウイルス感染症も減少しました

今週の定点あたりの報告数は2名となり、先週の13名から減少しました。

新型コロナウイルスの感染対策は、インフルエンザと共通しています。手洗い、咳エチケット、換気を行い、感染に気をつけましょう。

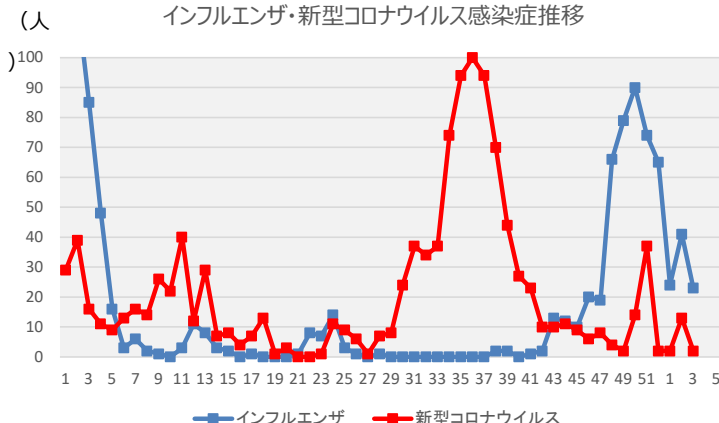


(第3週)

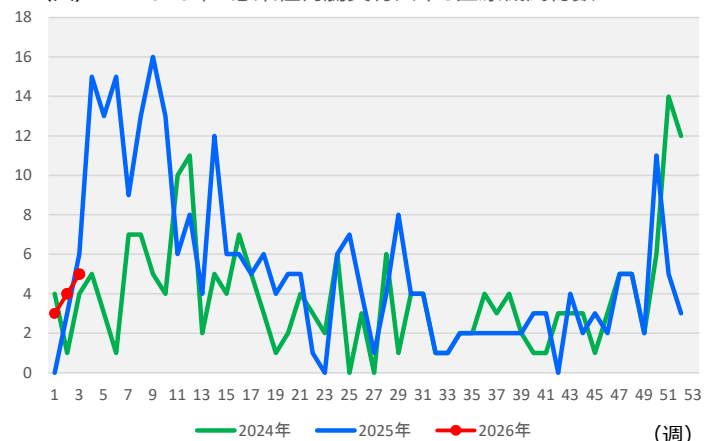
(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳								1											
4～6歳	3							1											
7～9歳								1											
10～14歳	1							1											
15～19歳	7																		
20歳以上	9	3		2				1											
今週	20	3		2				5											
	23																		
70歳以上(再掲)																			
先週	33	8		13				4											

2025-2026年 竹田地域
インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症推移



(人) 2026年 感染性胃腸炎竹田市8医療機関総数



冬は特にご注意ください！

ノロウイルス

による

食中毒

食中毒は夏だけではありません。

ウイルスによる食中毒が**冬に多発**しています!!!

データでみると

ノロウイルスによる食中毒は、

◆患者数で第1位



原因別の食中毒患者数（年間）

◆冬期に多い



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数（年間）

◆大規模な食中毒になりやすい

ノロウイルス	36.7人
その他	8.4人

食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（令和2～6年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の
健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取り扱う作業をしない。
- 毎日作業開始前に調理従事者の健康状態を確認し、責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの
手洗い

- 洗うタイミングは、
 - トイレに行ったあと
 - 調理施設に入る前
 - 料理の盛付けの前
 - 次の調理作業に入る前
 - 手袋を着用する前
- 汚れの残りやすいところをていねいに
 - 指先、指の間、爪の間
 - 親指の周り
 - 手首、手の甲

調理器具の
消毒

- 洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

ノロウイルスQ&A

検索



冬の感染対策

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳エチケット」「換気」です。

医療機関や高齢者施設などでは、重症化リスクの高い方への感染予防のためマスクの着用を求められることがあります。

正しい手の洗い方



① 流水で汚れを洗い流し、手のひらで石けんを泡立てます。



② 手の甲を伸ばすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。

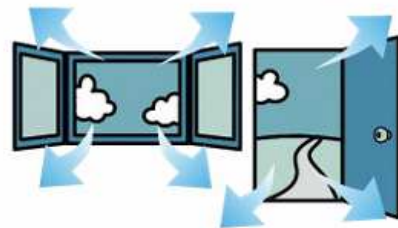


⑦ 石けんを流水で洗い流します。

3つの咳エチケット



こまめな換気



寒いと、つい窓を閉めっぱなしにしがちですが、ときどき窓や扉を開けて空気を入れ替えましょう。



厚生労働省

健康・生活衛生局

感染症対策部 感染症対策課